

つきいち

月1原発映画祭 + 交流カフェ

～映画でみる・知る・感じる原発～



会場：谷中の家（台東区谷中3-17-11）

3.12を忘れない

第12回 4月6日(土) 船橋淳監督を迎えて

フタバから遠く離れて 〈アンコール上映〉



その日、町は丸ごと引越をした。



東京電力福島第1原発の事故後、^{ふたばまち}双葉町は町全体が警戒区域となり、1423人が約250km離れた埼玉県加須市の旧^{かぞ}県立^{きさい}騎西高校へ避難、地域社会丸ごとの移転という前代未聞の事態となりました。故郷を遠く離れた土地で、今も避難生活を送る福島県双葉町民の日常を9か月にわたって記録したドキュメンタリーです。

■監督：船橋淳 ■テーマ音楽：坂本龍一「for futaba」 2012年/日本/96分/公式ホームページ <http://nuclearnation.jp/>



昨年末から今年にかけて双葉町は激動のさなかにあります。井戸川町長の不信任案可決、町議会解散、井戸川町長辞任、町長選挙、いわき市への役場機能移転、中間貯蔵施設の問題など、まさに原発をめぐる日本全体の問題がここに凝縮されています。4月はいわき市における「仮の町」スタートの時。[監督トーク]では、映画完成後も双葉郡や双葉町の人びとの記録をつづけている船橋監督のお話を聴き、[交流カフェ]では監督を囲んで意見交換などフランクに語り合いたいと思います。

上映1 11:00～12:40（開場10:30） **監督トーク** 12:45～13:15

交流カフェ 13:30～15:00（飲物・軽食付き） **上映2(英字幕付き)** 15:30～17:10（受付開始15:10）

■参加費：上映各回1000円／交流カフェ参加は飲食代として別途500円～カンパをお願いします。

監督トークは、上映または交流カフェに参加の方は無料。監督トークのみ参加希望の方はカンパをお願いします。

*いずれも予約制です。お申し込み方法、会場地図は裏面をごらんください。

■会場：谷中の家（台東区谷中3-17-11）

メトロ千代田線千駄木・JR日暮里・JR西日暮里下車徒歩7分。よみせ通り、延命地蔵を東へ入る、2筋目を南へ入って東側。 ■定員：各30人（要予約）

■申込み方法：以下いずれかの方法で予約してください。

① 申込みフォームから（ひがし広場HPにリンクあり）

・上映1→<http://kokucheese.com/event/index/79557/>

・監督トーク/交流カフェ

→<http://kokucheese.com/event/index/79767/>

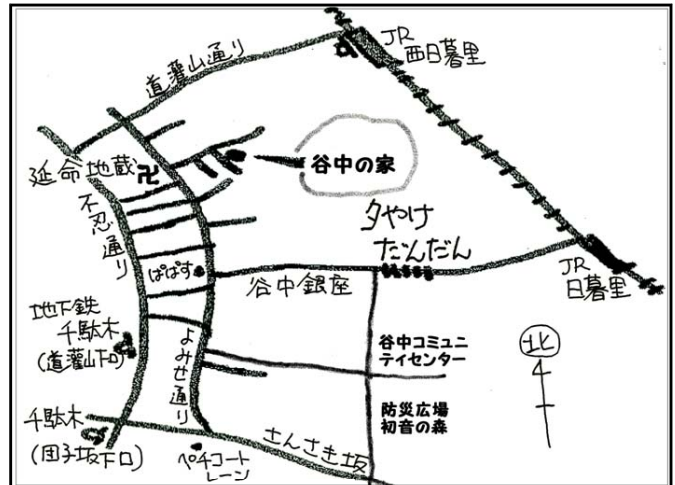
・上映2→<http://kokucheese.com/event/index/79561/>

② メール masa5884@y8.dion.ne.jp

* 件名を「月1原発映画祭申込み」として参加内容（上映1・上映2・監督トーク・交流カフェ）を明記してください。

③ 電話 050-3059-6328（小林）

■お問い合わせ：電話090-1265-0097（植松）



同日開催！

宇都宮健児・井戸川克隆 未来を語る

前日弁連会長

前双葉町町長

4月6日(土) 18:30開場 19:00開演 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

(渋谷区桜丘町23-21 渋谷駅徒歩5分)

チケット：前売り700円、当日800円

対談：宇都宮健児、井戸川克隆 / 司会：マエキタミヤコ

主催：市民グループ「私が東京を変える」

問合せ：20130406@watashiga.org / URL：<http://watashiga.org/>

参加申込：<http://peatix.com/event/10669>

「福島を風化させてはいけない」という宇都宮健児氏、「多くの人に聞いてほしい」と願う井戸川克隆氏の対談が実現！聞くということ。忍耐強く耳を傾けるということ。宇都宮健児氏のこれまでの活動は実に忍耐強く「聞く」ことから始まった。真実の声を聞き逃さない、そして権力に立ち向かう姿は、わたしたちにとって「真のやさしさに裏打ちされた強さ」を感じさせてくれる。現代社会においてこれほど頼りになる人物を他に思い浮かべることができない。

「風がどちらに吹いているか」… 福島第一原発が危ないと聞いたとき、井戸川克隆町長は風を読んだ。「町民を被曝させてはならない」その一念で県外への避難を決めた。強い意志が町民を放射能から守った。そして井戸川克隆氏の闘いは始まった。

このお二人の対談は、私たちの未来に一筋の光をもたらしてくれる。そんな予感がする。

市民グループ「私が東京を変える」代表 山口あずさ

◆ 月1原発映画祭とは

毎月1回（原則として第1土曜日）、原発に関連した映画・映像を上映し、ゲストを迎えてお話を聞いたり、意見交換・情報交換をしたり、日ごろの思いや疑問を語り合ったりする交流の場を提供します。脱原発を願う人も、脱原発に疑問を持つ人もお気軽にご参加ください。毎月のご案内やこれまでのレポートはひがし広場HP (<http://www.jtgt.info/>) からご覧になれます。

◆ 地域から未来をつくる・ひがし広場（略称・ひがし広場）に参加しませんか？

地域から未来をつくる・ひがし広場は、文京区、台東区、北区、足立区などの地域の住民有志が集まってつくっているネットワークです。原発都民投票条例をつくるための署名活動から生まれました。署名集めから都議会で可決を目指すプロセスで、私たちは1人ひとりが主体的に考え、行動して社会に働きかけていくことの大切さを知り、同時にそれを地域のつながりを生かして進めていくことの楽しさを知りました。「社会の現状を知る、学ぶ、そして変えていくために主体的に行動する」という趣旨のもと、メーリングリスト(ML)で随時情報交換をしながら勉強会などをおこなっています。HPのお問い合わせフォームからML登録申し込みできます。ぜひ一緒に！

主催 地域から未来をつくる・ひがし広場
<http://www.jtgt.info/>